

★5月は 佐賀商業高校『いじめ防止強化月間』です！

佐賀商業高校では5月・12月を「いじめ防止強化月間」に指定し、学校内だけではなく、SNS などをつかったいじめや差別、誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）をしない・許さないという意識を高めていくように啓発をしています。

このような、おたよりでも紹介しますが、一番は「自分のことではないから関係ない」という意識ではなく、「〇〇さん最近元気がないな」とか「いつもと雰囲気が違うな」といった、身近な人への何らかの気づきが大事です。もし、クラスや部活動などでいつもと違う言動や様子に気付いたら、ちょっと声をかけてみませんか？何か悩みがある人も、ちょっとした問いかけで、誰かに相談しようという勇気ができるかもしれません。声をかけるのも勇気がいりますが、

周囲の「何かあったの？」ときく勇気

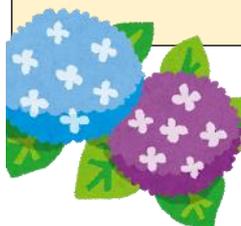
該当者の「悩みを相談してみようかな」という勇気

をぜひ持ってほしいと思います。今後の学校や社会生活で、誰かが必ず支えになってくれます。つらい時、きつい時は、一人で抱え込まず、話しやすい先生や友人、保護者、相談機関に相談してください。★教育相談だより第1号に連絡先も掲載中

萩生田 光一 文部科学大臣から

「不安や悩みを抱える全国の児童生徒・学生にむけた自殺予防メッセージ」が届いています。

あわせて文部科学省の相談窓口 PR 動画、SOS ダイアル等の相談窓口の URL・QR コードも掲載してあります。直接人とは話しにくいという人は、SNS 相談も利用してみてください。↓



児童生徒や学生等のみなさんへ



文部科学省

現在、新型コロナウイルス感染症が広がる中で、皆さんの中には不安を抱えている人がいるかもしれません。新学期の始まり、春休みやゴールデンウィークの終わりなど、不安や悩みを抱えていても、決して一人ではありません。ご家族、先生、周りの友達、誰にでもいいから悩みを話してほしい。私をはじめ、周りの大人は皆さんの味方です。

文部科学省では、24時間子供 SOS ダイアルから電話相談を受け付けており、各地域にも電話や SNS などでも相談できる窓口、また、各大学等にも相談窓口があります。周囲に相談しづらいときは、ぜひ利用してみてください。

「君は君のままでいい」
(相談窓口PR動画)



<https://youtu.be/CiZTk8vB26I>



子供の SOS ダイヤル等の相談窓口

24時間子どもSOSダイヤル (通話無料) なやみまもろ
0120-0-78310



24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310



https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

(参考)

令和三年五月

文部科学大臣 萩生田 光一

○文部科学大臣メッセージ

「不安や悩みを抱える全国の児童生徒や学生等のみなさんへ」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/mext_01406.html

(文部科学省ホームページ)



○相談窓口PR動画「君は君のままでいい」

<https://youtu.be/CiZTk8vB26I> (YouTube 文部科学省公式チャンネル)



○子供の SOS ダイヤル等の相談窓口

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm

(文部科学省ホームページ)



ちょっとした話題… 小さな「堪忍袋」の緒(お)は切れやすい

「堪忍袋の緒が切れる」とは「ガマンできなくなって怒りが爆発してしまう」ことです。

世の中には絶対にしてはいけないことがあって、それは法律でルール化されているものも多いのですが、現在、新しいルール、例えば「必ずマスクをしましょう」「せきエチケットを」などといった場合、公共の場でそれが守れない人に対して、あなたはどうか感じますか？

中には大声で怒られたり、注意された人もいるかもしれません。大声をださないまでも「いやだなあ」と心の中で思うだけの人も多いと思います。

このルール破りをした人に対して、「堪忍袋がすぐ切れてしまう人」と「切れない人」の差はなぜ生まれるのでしょうか。

「堪忍袋が大きい人」は「堪忍することができる＝許容できる人」だとすれば、堪忍袋が大きい人はおそらく、いろいろな経験を通して、人によって考えが違うことや、多様であることを知っている人ではないのでしょうか。

- ・自分と全く違う価値観をもつ人がいる
- ・自分の考えがすべてではなく、様々な経験を積むことで価値観が変わることもある
- ・多様な考えを受け入れることで、他の人の意見・考えに寛容になれて、過ちも許せるようになる

と名城大学の曾山和彦教授が書かれています。詩人・金子みすゞさんの「みんなちがって、みんないい」の気持ちで、「堪忍袋」を大きくしてみたいものです。出典『学校教育相談』6月号(ほんの森出版2021)

スクールカウンセラーへ相談したいことがあれば担任を通じてか、直接お問い合わせください →佐賀商業高校(電話 0952-30-8571) 教育相談係まで※次回 6/11(金)PM

